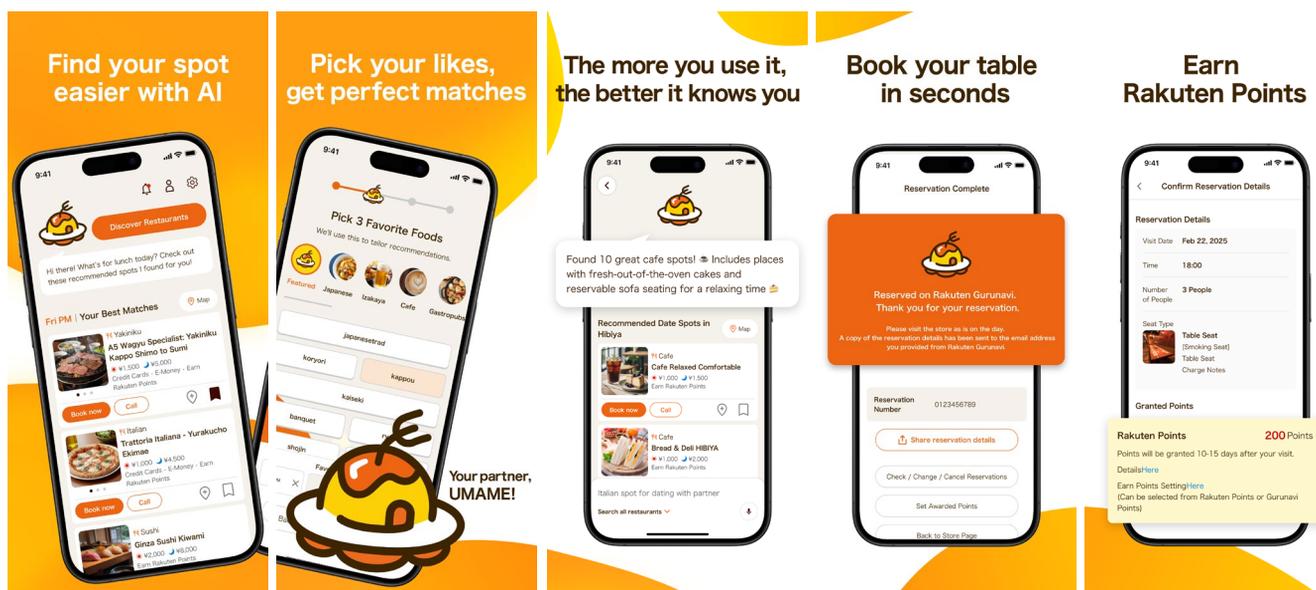


AIエージェントが導く次世代飲食体験アプリ

「UMAME!」 英語版を提供開始

ー 訪日外国人観光客へ日本の「今」を体験できる最適な一軒を生成AIが提案 ー

株式会社ぐるなび（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：杉原章郎、以下ぐるなび）は、生成AIを用いて飲食体験をパーソナライズするAIエージェント搭載アプリ「UMAME!（うまみー!）」の英語版を、2026年3月31日（火）より提供開始します。本リリースにより、日本の地理や食文化に不慣れな訪日外国人観光客でも、現在地周辺にある「今」を体験できる最適なお店へ迷わずたどり着ける、次世代の飲食体験を提供します。



訪日外国人観光客にとって、日本の飲食体験は最大の楽しみである一方、膨大な情報の中から自分の好みに合い、今すぐ入れるお店を見つけるのは困難です。「UMAME!」英語版は、この「Where to go?（どこ行く?）」という迷いを解消するために開発されました。単なる検索ツールではなく、ユーザーに寄り添うAIエージェントが、日本の「今」を感じられる飲食店をマッチングし、旅中の一期一会の出会いを提案します。

「UMAME!」が提供する3つの価値

1. 「今、入れるお店」を即座にサジェスト

旅先での時間は一分一秒が貴重です。現在地周辺から最適な一軒を即座に提案し、不慣れな土地でのお店探しによるタイムロスを最小限に抑えます。

2. 日本の「今」を体験できるローカルスポットとの出会い

その時、その場所でしか味わえないローカルな名店などをAIが提案。ユーザーの気分寄り添ったお店をマッチングすることで、検索の手間を省き、日本の食文化との新たな出会いを提案します。

3. 使えば使うほど進化するパーソナライズ体験

お気に入りのお店を保存する「ブックマーク」や、食事の記録を残す「ジャーナル」とAIが連動。利用を重ねるごとにAIがユーザーの好みを深く理解し、専属コンシェルジュとして最適なマッチングを提供し続けます。



今後の展望

今後は、日本を訪れる世界中のユーザーがよりシームレスに利用できるアプリを目指し、さらなる利便性向上に努めます。またこれにより、日本の豊かな食文化のさらなるファン拡大と飲食店への送客に貢献します。

ぐるなびは、生成AIを活用しぐるなび全体の技術革新・DXを実現する「ぐるなびNextプロジェクト」を推進しています。今後も、「食でつなぐ。人を満たす。」というPURPOSE（存在意義）のもと、AI活用の拡充を通じて「次世代飲食体験の実現」と「圧倒的な業務効率化」を加速させてまいります。

「UMAME!」の開発背景や特徴については、「ぐるなび通信」でも詳しく紹介しています。
ぐるなびが「UMAME!（うまみー!）」（次世代型飲食店マッチングアプリ）を本格リリース!
【記事はこちら】 https://pro.gnavi.co.jp/magazine/t_res/cat_8/a_4886/

■アプリ概要

名称 : UMAME!（うまみー!）
対応言語 : 日本語、英語
価格 : 無料
対応OS : iOS / Android
iOS : <https://apps.apple.com/app/id6737528819>
Android : <https://play.google.com/store/apps/details?id=jp.co.gnavi.umame>
公式サイト : <https://umame.gnavi.co.jp/>



iOS



Android

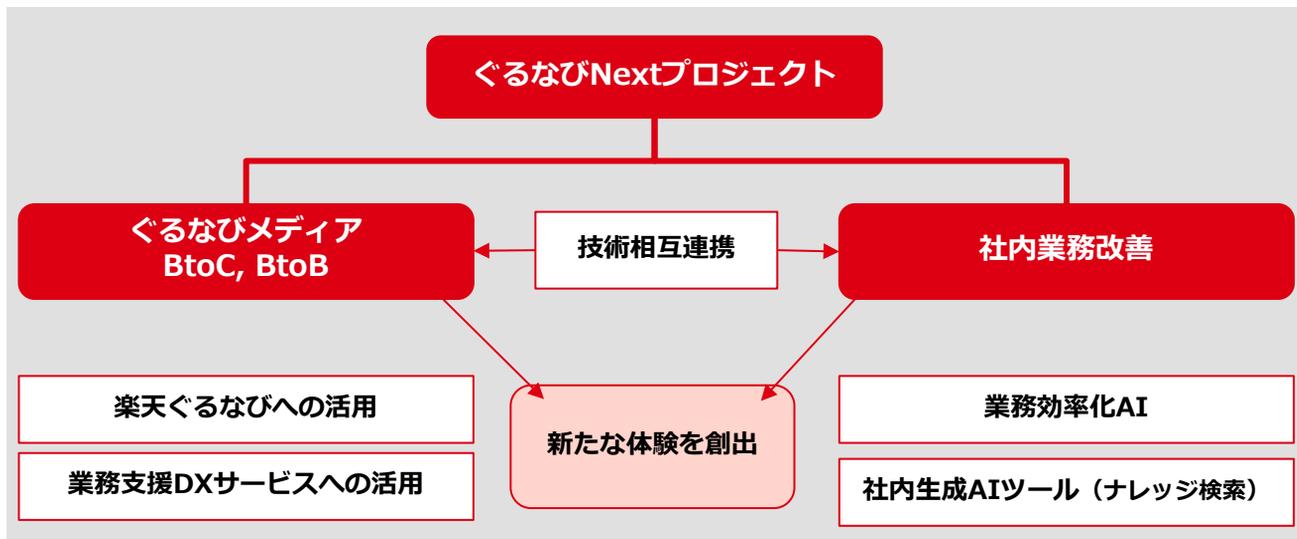


公式サイト





■ぐるなびNextプロジェクト概要



楽天ぐるなびへの活用
飲食店に関する膨大な情報を整備し、対話型インターフェースで目的に合致した店やメニューを容易に見つけだすサービスを構築。

業務支援DXサービスへの活用
ぐるなびのビジネスモデル・データのユニーク性を活かし生成AIを活用することで新しいサービスを創造する。

業務効率化AI
人的サポートのオペレーションを自動化し、飲食店へのサービス提供の生産性を高め、競争力のあるサービスを提供。

社内生成AIツール（ナレッジ検索）
従業員が自ら生成AIを積極活用していくことでAIリテラシーを高めながら全社の生産性を向上させる。

■ぐるなびNextプロジェクトVISION

次世代飲食体験の実現

AIが導く未知の体験の実現。飲食店の選択肢をよりパーソナライズし、価値のある食体験を創出。

圧倒的な業務効率化

AIを駆使した自動化技術により、社員の負担を軽減し、クリエイティブな業務に集中できる環境を提供。

■ぐるなびNextプロジェクトMISSION

- 飲食店探しの新時代を開拓する
- 膨大な飲食店情報を生成AIを用いて整備・要約し、利用者が目的に合った店やメニューを容易に見つけられるようにする
- 社内業務で生成AIを積極的に活用し、全社の生産性を向上させ、営業・コンサルティング活動を含む人的サポートのオペレーションを自動化し、生産性とスケーラビリティを向上させる

＜本件に関する報道機関からのお問い合わせ先＞

株式会社ぐるなび 広報グループ MAIL:pr@gnavi.co.jp